

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成29年度事業点検・評価調書

4- -15

4 -
-15

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	公共交通機関内での対応の充実
節	.ホスピタリティの醸成		
事業(施策)名	15 佐渡汽船における来訪者PRの取組強化	事業主体	佐渡汽船(株)
事業実施期間	H28～H34	関連団体	県観光振興課、新潟市観光政策課、長岡市観光企画課、上越市観光振興課、佐渡市交通政策課、佐渡市観光振興課、県観光協会、佐渡観光協会
事業概要	<p>【事業目的】 佐渡航路船内等で佐渡の文化や歴史を紹介するなど、佐渡への期待感を高める。</p> <p>【事業内容】 佐渡汽船乗船待合室や航路船内等で、佐渡への期待感を高めるための広報・PR活動を行う。</p>		
⑳事業計画と実績	<p>【29年度計画】 カーフェリー船内で鬼太鼓、民謡などの伝統芸能や郷土文化の体験、特産品販売などのイベントを継続して実施する。 ジェットfoil船内で職員がドローン撮影した島内映像を放映する。</p> <p>【29年度実績】 鬼太鼓、民謡などカーフェリー船内イベントを30回実施した。 9月からジェットfoil船内でドローン映像を放映した。 職員による手書き観光新聞を作成し佐渡汽船ホームページ、フェイスブック、ターミナルに掲出した。 佐渡地域振興局企画振興部と両津南埠頭ビル(株)、佐渡市が協力し、両津港佐渡シータウン内に佐渡金銀山紹介コーナーを設置した。</p>		
課題・今後の取組	<p>【課題】 船内イベント実施便の周知を図る必要がある。 季節毎の映像素材が不足しているため、計画的な取組が必要である。</p> <p>【今後の取組】 船内イベント周知の為にSNSやホームページを活用する。 ドローン映像については、年間スケジュールを立て、四季の取材を行う。</p>		
事業評価	<p>【事業の達成度】 { a (b) · c }</p> <p>【事業実施の効果】 { a (b) · c }</p> <p>【総合評価】 { A (B) · C }</p> <p>船内や旅客ターミナルにおいて伝統芸能などを紹介し日本人観光客に加え、インバウンド旅客などへも船旅の楽しみを提案できたことから、Bとした。</p>		

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。